

2010-2011	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
企画展		古代ローマ帝国の遺産 4/10-6/13			ロボットと美術 7/10-8/29						芸術の青森展 (仮) 1/22-3/21	
常設展	[春]花を描く/没後20年 工藤哲巳:前衛芸術家の魂 3/25-6/27			[夏]×A(バイエー)プロジェクト 上田信の世界 (仮) 6/30-8/29		[秋]成田亨×高山良策/版画 9/1-11/28			[冬]2010.12 東北新幹線全線開業記念コレクション展 12/4-3/21			
共催・協力展								スタジオジブリ・レイアウト展 10/9-1/10 (予定)				

企画展

古代ローマ帝国の遺産 - 栄光の都ローマと悲劇の街ポンペイ
4月10日 - 6月13日

帝国の誕生から繁栄の極みまでを、壁画・彫刻・工芸など約110点の壮麗な作品によってふり返る、かつてない規模と充実した内容のローマ帝国展です。イタリア珠玉のコレクションから選りすぐったローマ帝国の富の数々が2000年の時を越えて青森にやってきます。

ロボットと美術 ～身体×機械のビジュアルイメージ～

7月10日 - 8月29日

20世紀における人間の新しい身体認識＝ロボット

その発展の歴史と日本の文化・美術・思想との関連性を考察し、「ロボット・イメージの変遷」そして「ロボットとは何か」を問いかけます。本展は、20世紀に生み出されたロボットという存在をひとつの狂言回しとして、技術と身体そして美術にまつわる文化的冒険を振り返り、21世紀のわれわれの身体観を考察する試みです。

芸術の青森展 (仮)

2011年1月22日 - 3月21日

縄文土器やこぎん・津軽塗などの生活の中から生まれた工芸から、棟方志功ら近・現代の作家に至るまで、青森県は風土に密接に結びついて発展した個性的な芸術を育んできました。新幹線全線開業にあわせ、豊かな自然や食文化とともに本県の大きな魅力である「芸術の青森」を紹介します。

常設展

[春] 花を描く / 没後20年 工藤哲巳:前衛芸術家の魂
3月25日 - 6月27日

名前のとおり「花」を得意とし、親密な共感にみちた花々を描き、青森県女性洋画家の先駆者として活躍した橋本花(1905-1983)。色鮮やかな花や果物をモチーフに、静謐で幻想的な世界を描いた七戸町出身の鷹山宇一(1908-1999)。春はこの二人の画家の作品を中心に、「花」をテーマに描かれた作品の数々を展示します。また、「反芸術」と呼ばれた活動で日本の戦後美術に新しい流れを切り拓いた工藤哲巳(1935-1990)の没後20年を機に、当館の誇る工藤哲巳コレクションを特集で紹介します。

[夏]×A(バイエー)プロジェクト 上田信の世界(仮)
6月30日 - 8月29日

ロボット展との関連企画として、蓬田村出身のメカニックイラストレーター、上田信(1949-)の作品を紹介します。上田信は、小松崎茂の最後の内弟子として5年間小松崎と生活を共にし、作画を学びました。各種雑誌に掲載されたイラストやプラモデルの箱絵原画など、多岐にわたる上田の仕事の全貌を振り返ります。

[秋] 成田亨×高山良策 / 版画
(あおもり版画トリエンナーレ関連企画)

9月1日 - 11月28日

[冬] 2010.12 東北新幹線全線開業記念コレクション展
12月4日 - 2011年3月21日

共催・協力展

高畑・宮崎アニメの秘密がわかる。
スタジオジブリ・レイアウト展
10月9日 - 2011年1月10日(予定) 主催:青森放送、東奥日報社

パフォーミングアーツ

演劇「津軽」

11月27・28日

東京 全労済ホール スペース・ゼロ

ダンス「アレコ2010」

2011年2月開催予定

当館が所有するマルク・シャガール作のバレエの背景画「アレコ」(1942年制作)を活用し、演劇・ダンス・音楽を融合させた作品「アレコ青森バージョン」を制作・公演します。

アレコホールコンサート「アジアの音」

10月開催予定

香港演奏家と本県演奏家のジョイントコンサートとワークショップを開催します。

青森県立美術館ドラマリーディングクラブ

5・8・12・3月

リーディング・演劇公演予定